

| 科目名 | 年度 | レポート番号 | クラス | 学籍番号 | 名前 |
|--------|------|--------|-----|----------|------|
| API 実習 | 2021 | 3 | A | 20120033 | 峯野洲途 |

レポートは極力 5 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API 連携について、実用的な API とその活用について調査すること。

評価ポイント

選択した API にどのように事例があり

具体的な実装方法について調べ

自分が使うのであれば、どんな使い方が考えられるか << 天気予報に使えると思うなどは NG。具体的に考えよう。

選択した API : Google Maps Platform

公式サイト : <https://cloud.google.com/maps-platform/>



Google Maps Platform

・Google Maps Platform とは

Google Maps Platform とは、Android、iOS、Web サイト、http の経由で使用することができる Google が提供をしている Web 地図サービスのことである。

(参照元 : <https://www.zenrin-datacom.net/business/gmapsapi/>)

・Google Maps Platform を使用して成功した事例について

この API を導入して成功している事例としては、宅配サービスや飲食店などの事例がある。事例として、この二つの事例をここでは紹介していきたいと思う。

まず、最初に、宅配サービスについて紹介していこう。とある大手フードデリバリーサービスを提供している企業では、デリバリーサービスを拡大し、顧客の望む商品を迅速に顧客の元へと配達するためには、正確で信頼性の高いマップデータが必要とされていた。また、企業にとって、配達サービスを拡大するためには、マッピング技術と言われる GPS に移動したルートを記録させるようにする技術が必要とされた。そして、企業が欲している二つの条件を満たしている API をサービスに導入したことで、その大手企業は大きく成長を遂げることができた。

続けて、二つ目の事例は、飲食店について紹介していこう。 全国展開しているとあるレストランチェーン店では、そのレストランの公式サイトに関する苦情が寄せられていた。その原因とは、公式サイトのデザインはパソコンで閲覧することを前提としたものであったため、スマホ向けに最適化されたものではなかったため見づらいという問題があった。そのため、閲覧者からレストランの所在地がよくわからないことや、マップなど見ればすぐにわかるようなものが公式 HP に記載されていないなどのクレームを受けていたこともあった。そして、飲食店側は、この API の導入を決定した。公式 HP とアプリを Google Maps の地図情報システムと連動させることで、利便性の高いものへとサイトを向上させた。導入した後は、HP へのアクセスはリニューアル前と比較して増大し、地図が見えないなどのクレームが少なくなった。その結果、ユーザー満足度を向上させることにつながった。

・具体的な実装方法について

具体的な実装方法についてだが、事例の宅配サービスにおいて実装手段を紹介していこう。

宅配サービスについてですが、このサービスでは、配達側が必要とする情報は顧客が届けてほしい場所の位置情報が必要になる。そのため、配達するドライバーは Google Map を仕事の中で活用していくことで、配達元から目的地までのルートを簡単かつ的確に確認することが可能となる。配達ドライバーの携帯や配達に使用するデバイスで活用できるようにするために Google Map をデバイスに導入することで配達をする中で実装することが可能となる。これは、現在でも Uber Eats などの配達サービスを中心とする企業で取り入れられている。

・個人的にどんな使い方ができるのか

個人的の使い道としては、案内図として利用できる。これは過去に自分が経験したことであるが、以前、東京に家族で旅行したことがあった。その時、家族たちと別行動を取って、一人で秋葉原に行ったことがあった。秋葉原で、行きたい場所があったが、目的地への行き方がわからなかった。初めて行った場所だったためわからなかったのも当たり前かもしれないが、その時は、迷子になってしまった。しかも、自分が秋葉原のどこにいるのかさえもわからず途方に暮れていた。だが、その時に

iPhone(iOS)から経由して Google Map を使用して目標の場所と現在地を確認したのだ。その結果、その場所を発見することができ、表示されたマップを参考にしながら、目的地まで無事に辿り着くことができた。この経験談を元にするが、個人的な活用方法としては、初めて行った場所(海外や他県など)で、この API を用いることで、目的地で迷わずに辿り着くことができる。

・HP に導入すればどうなるか

これは、個人的な使用方法ともなるが、これを大学で履修したことで絡み合わせてみるとどうなるのか。

自分は、個人で作成したサイトの中に実装することができると思っている。先ほど紹介したレストランの件でも、HP に Google Maps Platform を導入していたため、HP に導入することは可能なのである。例えば、米山キャンパスの周囲に存在する料理店(レストラン)の位置情報とレストランの詳細を確認することができる HP を作成した場合に、この API を導入することで、正確に位置情報を把握することが可能となる。もし、このサイトを利用する人にとっては HP において載せて欲しい情報ではないだろうか。

そのため、この API を HP に載せる際には、レストランや会社(以外にも大学など)の所在地を把握するためのマップを実装する際に、導入することが求められる必須級のサービスである。